

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語			科目名	論理国語					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	1 論点を整理するために 「若者に友達プレッシャー」 「他者を理解する」	5 5
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●											
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① 新論理国語（三省堂） ② 新論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）																					
学 習 の 重 点 目 標																					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	3 事例の意味を探るために 「多様な視点から考える」	9					
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字・リテラス検定についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	10月 ～ 11月	4 構成を吟味し説得力を高めるために 「ホンモノのおカネの作り方」	9					
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				B＋		B－		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。				12月 ～ 1月	6 7							
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができています。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				2月 ～ 3月	7							
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができています。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																		84			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
教科名	国語			科目名	論理国語					D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第一部 一. 論理国語へのいざない 「情報の『メタ』化」	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●					6月 ～ 7月	二. 「情報社会」を生きる I 「ぬくみ」	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
教科書・副教材・（発行所）																												7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
① 教科書：精選 論理国語（三省堂） ② 問題集：精選 論理国語 学習課題ノート（三省堂） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④ 参考書：新訂版常用国語便覧（浜島書店）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
学 習 の 重 点 目 標																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	論理国語											第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	弱いつながり			8
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →		第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	【中間考查】		1								
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)							第 3 学 期			8 月 ～ 9 月	〔逆説〕 手の変幻		5							
① 教科書：論理国語（数研出版） ② 問題集：論理国語 学習課題ノート（数研出版） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④											10 月 ～ 11 月			12 月 ～ 1 月			〔逆接〕 胆力について		4	
															学 習 の 重 点 目 標		【期末考查】			1
								言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							〔具体と抽象〕 「内的成長」社会へ		6			
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施			第 2 学 期		10 月 ～ 11 月	〔具体と抽象〕 「具体」から「抽象」へ		7					
											評 価 の 基 準		【中間考查】			1				
													A（十分満足できる状況）					B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
																	B＋	B－		
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	〔情報と社会〕 消費されるスポーツ		6					
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。			自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。			2 月 ～ 3 月	〔言葉と思考〕 偶然とは何か			8							
	文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。			文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。				〔言葉と思考〕 野生の「クジラ」と人間の「鯨」				1						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				【期末考查】						64				
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語			科目名	論理国語					D	学	進	文	理	文	特	理	第1学期	4月 ～ 5月	弱いつながり	10	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →											●				●チェックポイント [1] (主張の明確化)	3
教科書・副教材・(発行所)																						
① 教科書：論理国語 (数研出版)																						
② 副教材：論理国語 準拠ワーク (数研出版)																						
③ 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版 (尚文出版)																						
④ 副教材：新訂版 常用国語便覧 (浜島書店)																						
学 習 の 重 点 目 標																						
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	6月 ～ 7月	【中間考查】	1						
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施						〔逆説〕 胆力について	12						
															●チェックポイント [2] (定義と抽象化)	2						
【期末考查】																				1		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)						第3学期	8月 ～ 9月	〔具体と抽象〕 「具体」から「抽象」へ 〔言葉と創造〕 国境を越える言葉 探究の扉一比べ読み「ニュースとコミュニケーション」			8		
					B＋		B－										8					
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								10月 ～ 11月	4				
																	8					
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。				自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。		【期末考查】	1												
									●チェックポイント [4] (文体と構成)	2												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。		12月 ～ 1月	9												
									〔言葉と思考〕 偶然とは何か ●チェックポイント [5] (情報の視覚化)	2												
【期末考查】																		1				
総 時 間 数																		94				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語			科目名	文学国語					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	1 随想・評論（一）想像と共感 飛ぶことを知っている魂 梨木香歩	8
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●								6月 ～ 7月	★中間考査	1
教科書・副教材・（発行所）																				18歳の選択 朝井リョウ	4
① 教科書：文学国語（大修館：文国704） ② 問題集：文学国語 学習ノート（文国 704準拠） ③ ④																		第2学期	6月 ～ 7月	2 小説（一）現代への視点 旅する本 石田衣良	5
学 習 の 重 点 目 標																			★期末考査	1	
①文章の内容、構成、展開。描写などをとらえ、解釈できる読解力をつける。 ②他作品などと比較して読解し、文体の特徴や効果を考えたり、解釈を深めたりできるようにする。 ③解釈を他者と共有し、解釈の多様性について考える力をつけ、ものの見方、考え方、感じ方を深める。 ④体験に基づき、構成、表現などを工夫して、文学的文章を書く力を養う。																			3 小説（二）語りの世界 山月記 中島敦	11	
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第3学期	8月 ～ 9月	★中間考査	1				
	国語一般常識や文章の読解力を、小テストと定期考査で評価する。				考えたことを的確に表現できる力を、授業中の問いに対する解答やレポート・感想文作成、話し合いの様子等で評価する。				自ら進んで学習に取り組み、向上し続けようとする意欲を、授業中の態度や提出物、学期ごとの振り返りで評価する。						5 随想・評論（二）自然を表す 鹿を追いかけて 小池昌代	5					
評 価 の 基 準																		第3学期	10月 ～ 11月	6 小説（四）記憶の継承 ころ 夏目漱石	7
知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）					★期末考査	1						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。 <th colspan="4">定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。<th colspan="4">定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。<td colspan="5">定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td><td>ころ 夏目漱石</td><td>6</td></th></th>				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。 <th colspan="4">定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。<td colspan="5">定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td><td>ころ 夏目漱石</td><td>6</td></th>				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。 <td colspan="5">定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td> <td>ころ 夏目漱石</td> <td>6</td>				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					ころ 夏目漱石	6		
思・判・表	探究的な課題やグループ活動で、自分の考えを他者に伝える適切な表現で述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動で、あまり自分の考えを表現することができている。					第3学期	12月 ～ 1月						
	文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で他者によく伝えるよう的確に表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等である程度伝えるように表現することができている。				文章読解後の考えや感想を、レポートや感想文等で表現することがあまりできていない。						7 小説（五）虚構の可能性 美神 三島由紀夫	6					
主体性・態度	学習に主体的に取り組み、積極的に発言したり、提出物を期限内に出したりすることができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第3学期	2月 ～ 3月	★期末考査	1				
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						総 時 間 数		57				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	国語		科目名	文学国語											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	文学の扉 「山月記」 中島敦	8	
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →							●			第 1 学期	6 月 ～ 7 月	文学の扉 第一章 「鍋セット」 角田光代	9
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															★中間考査		1		
① 文学国語（数研出版） ② 文学国語 準拠ワーク（数研出版） ③ ④															学 習 の 重 点 目 標		★期末考査	1	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8 月 ～ 9 月	詩歌 「小諸なる古城のほとり」 島崎藤村 他 「三月の風」 阿部昭	7 8						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				★中間考査	1							
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			10 月 ～ 11 月		「山椒魚」 井伏鱒二 「こころ」 夏目漱石	8 5							
	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。					★期末考査	1						
思・判・表		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			第 3 学期	12 月 ～ 1 月	「こころ」 夏目漱石	8					
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2 月 ～ 3 月	★期末考査	「こころ」 夏目漱石	8						
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							1					
総 時 間 数															66				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数				
教科名	国語			科目名	古典探究					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	4月 ～ 5月		古典編Ⅰ部 1. 説話に親しむ 『十訓抄一大江山の歌一』	8		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●									学 期	6月 ～ 7月	【中間考査】	1		
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		第2学期			8月 ～ 9月	古典編Ⅰ部 2. 随筆を読む 『丹波に出雲といふ所あり』 漢文編Ⅰ部 1. 故事と小話 『小話四編一蛇足一』 【期末考査】	6 3 1		
① 教科書：新編古典探究（東京書籍） ② 問題集：新編古典探究 学習課題ノート（東京書籍） ③ ④																			第3学期		10月 ～ 11月	古典編Ⅰ部 3. 作り物語を読む 『竹取物語一天の羽衣一』 漢文編Ⅰ部 3. 史記を読む 『項羽と劉邦一鴻門之会一』 【中間考査】	6 7 1		
学 習 の 重 点 目 標																				学 期	12月 ～ 1月	漢文編Ⅰ部 3. 史記を読む 『項羽と劉邦一鴻門之会一』 古典編Ⅰ部 4. 百人一首の世界 【期末考査】	6 7 1		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																		学 期			2月 ～ 3月	漢文編Ⅰ部 4. 中国の知恵 『寓話五編一塞翁馬一』 【期末考査】	9 1		
知識・技能																			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		総 時 間 数		65
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・古典常識についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				評 価 の 基 準		A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）						
	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。				B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。		B＋			B－										
定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。						定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。						定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、自分の言葉で表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現したりすることができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができず、自分の考えを持ったり自分の言葉で表現したりする様子がほとんど感じられな				第3学期		12月 ～ 1月		古典編Ⅰ部 5. 日記を読む 『土佐日記一馬のはなむけ一』		8						
	文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				文章の読み取りほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身についていない。						2月 ～ 3月		漢文編Ⅰ部 4. 中国の知恵 『寓話五編一塞翁馬一』 【期末考査】			9 1					
主体性・態度	予習・復習するなど、粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで学習に取り組むことができている。				学 期		2月 ～ 3月		漢文編Ⅰ部 4. 中国の知恵 『寓話五編一塞翁馬一』 【期末考査】		9 1						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容を考えることができている。																

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語			科目名	古典探究					D	学	進	文	理	文	理	護		4月 5月	古文編 第Ⅰ部 3.物語(一) 『伊勢物語』『初冠』	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●							5月
教科書・副教材・(発行所)																					
①教科書：精選古典探究(大修館書店)											②副教材：精選古典探究 学習ノート(大修館書店)										
③副教材：大学入試新古文単語336(文英堂)											④副教材：必携これからの古典文法〔改訂版〕(尚文出版)										
⑤副教材：必携新明説漢文(尚文出版)											⑥副教材：新訂版常用国語便覧(浜島書店)										
⑦副教材：必携古典文法練習ノート(尚文出版)											⑧副教材：必携新明説漢文ノート(尚文出版)										
学 習 の 重 点 目 標																					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 9月	古典文法〈助動詞〉 漢文編 第Ⅰ部 1.故事・逸話「漱石枕流」「塞翁馬」 漢文編 第Ⅰ部 2.漢詩一近体詩一「竹里館」 【中間考査】	5 10 4 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語や古典常識について の小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノートや課題 プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、 意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題プリントや副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価 や振り返りを実施												
評 価 の 基 準																					
	A(十分満足できる状況)				B(概ね満足できる状況)				C(努力を要する状況)				第3学期	10月 11月	漢文編 第Ⅰ部 2.漢詩一近体詩一 「六月二十七日望湖楼醉書」「登岳陽楼」 古文編 第Ⅰ部 2.随筆(一) 『方丈記』『行く河の流れ』 【期末考査】	10 10 1					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。				表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。				自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。				12月 1月	古文編 第Ⅰ部 7.物語(三) 『大鏡』『道真左遷』『競べ弓』	13						
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。				2月 3月	漢文編 第Ⅰ部 3.史伝一『史記』本紀(司馬遷) 「項王の最期(二)四面皆楚歌す」 【期末考査】	7 1						
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容を考えることができていない。												
総 時 間 数																		86			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	古典探究															
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●				第 1 学 期	4月 ～ 5月	古文編 第Ⅰ部 3.物語(一) 『伊勢物語―初冠―』	5
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			
① 教科書：精選古典探究（大修館書店） ②副教材：精選古典探究 学習ノート（大修館書店） ③ 副教材：大学入試新古文単語 3 3 6（文英堂） ④副教材：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 副教材：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥副教材：新訂版常用国語便覧（浜島書店） ⑦ 副教材：必携古典文法練習ノート（尚文出版） ⑧副教材：必携新明説漢文ノート（尚文出版）																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語や古典常識について の小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノートや課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で考えを深め、 意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題プリントや副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価 や振り返りを実施												
	評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
				B＋	B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	主体的にものごとを考え、表現したいことを明確にし、積極的に自分の言葉で他者と意見共有して自己を表現することができている。			表現したいことを明確にし、ある程度自分の言葉で考えを他者に伝えたり、自己を表現したりすることができている。		自分の考えを持ったり自分の言葉で考えを他者に伝えたりするなど、自己を表現する様子がほとんど感じられない。													
	応用的な文章の読み取りにも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な文章の読み取りで、ある程度の思考力や判断力が身につけている。		応用的な文章の読み取りにほとんど取り組むことができず、思考力や判断力が身につけていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。													
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容を考えることができていない。													
総 時 間 数																60			
第2学期																8月 ～ 9月	漢文編 第Ⅰ部 1.故事・逸話 「漱石枕流」「塞翁馬」 漢文編 第Ⅰ部 2.漢詩一近体詩一 「竹里館」 【中間考査】	8 5 1	
第2学期																10月 ～ 11月	漢文編 第Ⅰ部 2.漢詩一近体詩一 「六月二十七日望湖楼醉書」「登岳陽楼」 古文編 第Ⅰ部 2.随筆(一) 『方丈記―行く河の流れ―』 【期末考査】	7 7 1	
第3学期																12月 ～ 1月	古文編 第Ⅰ部 7.物語(三) 『大鏡―道真左遷―』	8	
第3学期																2月 ～ 3月	漢文編 第Ⅰ部 3.史伝一『史記』本紀(司馬遷) 「項王の最期(二)四面皆楚歌す」 【期末考査】	7 1	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
教科名	国語			科目名	古典探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第 1 学期	4月 ～ 5月	説話 大江山（十訓抄） 故事 買履忘度（韓非子） 画竜点睛（歴代名画記）	4 3 3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●				★中間考査	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
① 教科書：高等学校 古典探究（数研出版：古探/711） ② 問題集：高等学校 古典探究 準拠ワーク（数研出版） ③ 参考書：大学入試新古文単語 3 3 6（文英堂） ④参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） ⑤ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） ⑥新訂版常用国語便覧（浜島書店）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
①古文・漢文の読解を通して、文章の内容をとらえたり、文章を評価したり、自分の考えを深めたりできるようにする。 ②重要単語や句形、文法等の古典一般常識を身に着け、日本の伝統文化である古典作品を自分で読解できるようにする。 ③古典を鑑賞することによって、伝統的なものの見方・考え方に触れ、日本文化についての素養を身に																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8月 ～ 9月	史伝 鴻門之会（史記） 剣舞	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 古文単語等についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						★期末考査	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
評 価 の 基 準																		第 3 学期	10月 ～ 11月	思想 莊子	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				物語 光源氏誕生（源氏物語） ★期末考査	12 1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					B＋		B－																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学	習	内	容	時数
教科名	地理歴史		科目名	地理総合			D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月 ～ 5月	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ1 自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化			8
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●	●							1
教科書・副教材・（発行所）																				
① 教科書：新選地理総合 welcome to geography(実教出版) ② 地図帳：新詳高等地図(帝国書院) ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
地理的事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域・地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。また、地理的事象の意味や意義、相互の関連を自然環境や地域に着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業中に学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 定期的に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ノート、授業プリントなど ③自己評価・振り返り 小テストや考查後に自己評価や振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）														
				B＋		B－														
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現できている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数															第2学期	8月 ～ 9月	テーマ①東アジア グループ3 テーマ②西アジア・北アフリカ ★中間考查			13 1
															10月 ～ 11月	グループ4 テーマ①ヨーロッパ グループ5 テーマ①北アメリカ ★期末考查			14 1	
															12月 ～ 1月	グループ5 テーマ①北アメリカ 第2章 地球的課題と国際協力			16	
															2月 ～ 3月	第2章 地球的課題と国際協力 ★期末考查			1	
総 時 間 数															66					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	地理総合														第1学期	4月～5月	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 グループ1 自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化	8
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							5月		テーマ②気候と生活文化 ★中間考査	1	
教科書・副教材・（発行所）																		第1学期		6月～7月	テーマ②気候と生活文化 グループ2 テーマ①東アジア	10
①教科書：新選地理総合 welcome to geography(実教出版) ②地図帳：新詳高等地図(東京書籍) ③ ④																				★期末考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																		第2学期	8月～9月	テーマ①東アジア グループ3 テーマ②西アジア・北アフリカ	13	
地理的事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域・地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。また、地理的事象の意味や意義、相互の関連を自然環境や地域に着目して、多面的・多角的に考察し、それらを基に議論したりする力を養う。																			10月～11月	グループ4 テーマ①ヨーロッパ グループ5 テーマ①北アメリカ ★期末考査	14	
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3学期	12月～1月	グループ5 テーマ①北アメリカ 第2章 地球的課題と国際協力	16						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業中に学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 定期的に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ノート、授業プリントなど ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施					2月～3月	第2章 地球的課題と国際協力 ★期末考査	1						
													評 価 の 基 準									
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	2月～3月	★期末考査	1						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				B＋		B－		C													
													定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	2月～3月	★期末考査	1						
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができる。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	2月～3月	★期末考査	1						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																		66				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	4月 5月		第1章 文明の成立と古代文明の特質	5
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●								第2章 中央ユーラシアと東アジア世界			5		
教科書・副教材・(発行所)																		第2学期			6月 7月	中間考査	1
① 高校世界史 (山川出版社) ② ③ ④																			第3学期	8月 9月		第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	5
学 習 の 重 点 目 標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																						第4章 西アジアと地中海周辺国家形成	5
																		第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成			2		
評 価 の 基 準																		第4学期	10月 11月	期末考査	1		
評価の趣旨	知識・技能 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に着けるようにする。				思考・判断・表現 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時代の推移・比較・相互の関連性や現代世界とのつながりに着目し、歴史の課題を解決する視野を入れて構想する力、考察力を基に議論する力を養う。				主体的に学習に取り組む態度 世界の枠組みと展開に関わる諸事象について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に探究する態度を養うとともに、多面的な考察や我が国に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。				第5学期	12月 1月	第6章 ヨーロッパ世界の変容と展開	5							
															第7章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	5							
																		第6学期	2月 3月	第8章 大交易・大交流の時代	3		
																				第9章 アジアの諸帝国の繁栄	5		
																		第7学期	3月 4月	中間考査	1		
																				第10章 近世ヨーロッパ世界の動向	10		
																		第8学期	5月 6月	第11章 産業革命と環大西洋革命	10		
																				期末考査	1		
																		第9学期	7月 8月	第12章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	6		
																				第13章 アジア諸地域の動揺	6		
																		第10学期	9月 10月	第14章 帝国主義とアジアの民族運動	7		
																				第15章 第一次世界大戦と世界の変容	7		
																		第11学期	11月 12月	期末考査	1		
																				総 時 間 数	96		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	世界史探究																	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●					第1学期	4月 ～ 5月	第1章 文明の成立と古代文明の特質	5
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																	6月 ～ 7月		第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	6	
① 世界史探究 詳説世界史（山川出版社） ② 詳説世界史 整理ノート（山川出版社） ③ ④																			中間考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																			第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開	4	
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようなにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																			第4章 西アジアと地中海周辺の状態形成	11	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度							第2学期	8月 ～ 9月	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	10				
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。			提出課題・ノート検査で判断する。			授業への意欲と受講態度を評価。								第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	9					
	評 価 の 基 準																	中間考査	1		
	知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）							10月 ～ 11月	第7章 ヨーロッパ世界の展開とモンゴル帝国	10				
					B＋			B－								第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	7				
思・判・表	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。			定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				期末考査		1					
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第3学期	12月 ～ 1月	第9章 大交易・大交流の時代	7							
各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。				第10章 アジアの諸帝国の繁栄		5									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					2月 ～ 3月	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	13							
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						期末考査	1							
総 時 間 数																	92				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	世界史探究					D	学	特	進	進	特	特	看		第1学期	4月	
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●				6月	7月
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① 世界史探究 詳説世界史（山川出版社） ② 詳説世界史 整理ノート（山川出版社） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
世界史の大きな枠組みと展開を理解させることを主眼とする。それぞれの地域の歴史的な背景がその後の社会・文化等の多様性・複合性に及ぼした影響をとらえた上で、現代社会にどのようなにつながっているかという歴史的思考力を身につけさせる。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月	9月	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成		10			
評価の趣旨	定期考査及び小テストの結果による評価。				提出課題・ノート検査で判断する。				授業への意欲と受講態度を評価。							第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向		9			
																中間考査		1			
																期末考査		1			
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	10月	11月	第7章 ヨーロッパ世界の展開とモンゴル帝国		10			
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。							第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国		7			
					定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。		定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。									期末考査		1			
					定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。		定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。									期末考査		1			
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				12月	1月	第9章 大交易・大交流の時代		7				
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						第10章 アジアの諸帝国の繁栄		5				
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				2月	3月	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向		14				
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						期末考査		1				
総 時 間 数																		93			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	日本史探究					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1章 日本文化のあけぼの	3 3 2 3 1
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●							1. 日本文化の始まり				
教科書・副教材・(発行所)																	第2章 古墳とヤマト政権				
① 日本史探究 高校日本史 (山川出版社)																	第2学期	6月 7月	1. 古墳文化の展開	4 4 4 3 1	
②																			2. 飛鳥の朝廷		
③																			◎中間考查		
④																	第3学期	8月 9月	第3章 律令国家の形成	5 5 4 1	
①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。																			1. 律令国家への道 2. 平城京の時代		
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																			3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容		
③																	第4学期	10月 11月	第4章 貴族政治の展開	5 5 5 1	
④																			1. 鎌倉幕府の成立と展開 2. モンゴル襲来と幕府の衰退		
⑤																			3. 鎌倉文化		
⑥																	第5学期	12月 1月	第5章 院政と武士の進出	3 3 3 3 1	
⑦																			1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権		
⑧																			第6章 武家政権の成立		
⑨																	第6学期	2月 3月	1. 鎌倉幕府の成立と展開 2. モンゴル襲来と幕府の衰退	4 4 4 1	
⑩																			3. 鎌倉文化		
⑪																			第7章 武家社会の成長		
⑫																	第7学期	4月 5月	◎中間考查	5 5 5 1	
⑬																			第8章 近世の幕開け		
⑭																			1. 天下人の登場 2. 豊臣政権と桃山文化		
⑮																	第8学期	6月 7月	第9章 幕藩体制の成立と展開	7 5 5 1	
⑯																			1. 江戸幕府の成立 2. 江戸初期の外交と文化		
⑰																			3. 幕府の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化		
⑱																	第9学期	8月 9月	◎期末考查	3 3 3 3 1	
⑲																			第10章 幕藩体制の動揺		
⑳																			1. 幕政の改革と宝暦・天明期の文化		
㉑																	第10学期	10月 11月	2. 江戸幕府の衰退	3 3 3 3 1	
㉒																			3. 化政文化		
㉓																			第11章 近世から近代へ		
㉔																	第11学期	12月 1月	1. 開国とその影響 2. 幕府の滅亡と新政府の発足	3 3 3 3 1	
㉕																			第12章 近代国家の成立		
㉖																			1. 明治維新		
㉗																	第12学期	2月 3月	2. 立憲国家の成立	4 4 4 3 1	
㉘																			第13章 近代国家の展開と国際関係		
㉙																			1. 大陸政策の展開 2. 第1次世界大戦と日本		
㉚																	第13学期	4月 5月	3. ワシントン体制	4 3 1	
㉛																			◎期末考查		
㉜																			総 時 間 数		
㉝																	92				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究											第 1 学期	4 月 5 月	第 1 章 日本文化のあけぼの 1. 日本文化の始まり 2. 農耕の開始 第 2 章 古墳とヤマト政権 1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷 ◎中間考査	2 3 3 3 1
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →				●					学 期	6 月 7 月	第 3 章 律令国家の形成 1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容 第 4 章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 荘園の発達と武士団の成長 ◎期末考査	4 3 3 3 1
教科書・副教材・(発行所)																		
① 日本史探究 詳説日本史 (山川出版社) ② 日本史探究 詳説日本史 授業用 整理ノート (山川出版社) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①日本史の楽しさに触れ、歴史上の出来事・人物などに興味を持たせ、苦手意識をなくすように学習させる。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			評価の趣旨								
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての 10 分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価											
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)			知・技								
				B +		B -												
	定期考査と小テストの合計得点が 80 点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が 55 ～ 79 点である。		定期考査と小テストの合計得点が 30 ～ 54 点である。	定期考査と小テストの合計得点が 30 点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数															104			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	日本史探究			4 月 ～ 5 月	第1 学 期	第Ⅰ部 第1章 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立											2		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●							第Ⅰ部 第2章 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	2	
教科書・副教材・（発行所）																						
① 教科書：『詳説 日本史』（山川出版社） ② 副教材：『詳説 日本史 整理ノート』（山川出版社） ③ ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施													
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。				各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																						92

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数											
教科名	公民			科目名	倫理					D	学	進	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1章さまざまな人間の心のあり方 第2章さまざまな人生観―源流思想― 第1節古代ギリシアの思想	3 5											
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●					6月 7月	★中間考査	1											
教科書・副教材・（発行所）																																
①教科書：倫理（数研出版：倫理704） ②問題集：倫理整理ノート（数研出版） ③ ④																																
学 習 の 重 点 目 標																																
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。																																
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 9月	第5節中国の思想 第3章さまざまな倫理観・世界観―西洋近代思想― 第1節理性への信頼と人間の尊厳 第2節自然・科学技術と人間 第3節個人・社会と自由 第4節民主社会の倫理 ★中間考査	3 2 2 3 2 1																
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価					10月 11月	第4節民主社会の倫理 第5節現代思想の流れ 第6節現代社会と生き方 第4章国際社会に生きる日本人としての自覚 第1節日本の風土と古代日本人の考え方 ★期末考査	2 5 3 2 1																
															評 価 の 基 準																	
															A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	12月 1月	第1節日本の風土と古代日本人の考え方 第2節仏教の受容と展開 第3節儒学の需要と国学の発達	5 6 6		
B＋				B－				2月 3月	★期末考査	1																						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				2月 3月															
思・判・表	先哲の思想を多角的に活用し、自己の生き方や現代の諸課題について論理的に考察し、根拠を持って自分の考えを表現している。				学習した思想や概念に基づき、自己の生き方や諸課題について複数の視点から考察し、自分の考えを適切に表現している。				先哲の思想と課題の結びつきが不十分であり、客観的な根拠や視点が欠けた主観のみの表現にとどまっている。				先哲の思想と課題の結びつきが弱く、主観や感情的な感想にとどまり、客観的根拠や論理的な多角性が不足している。																			
	先哲の思想を比較・引用し、自己の在り方や現代的課題に結びつけ、客観的根拠に基づき論理的な解決策や意見を構成できている。				学習した先哲の思想を適切に引用し、複数の視点から自己の生き方や現代の課題を考察し、基本的な根拠を基に表現できている。				先哲の思想と課題の結びつきが弱く、主観や感情的な感想にとどまり、客観的根拠や論理的な多角性が不足している。				先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。																			
主体性・態度	人間としての在り方に関心を持ち、他者との対話や自己省察を通じて、自らの価値観を客観的に見直し、高めようとしている。				倫理的な課題に意欲的に取り組み、対話や学習内容を振り返ることで、自己の生き方について考えを深めようとしている。				先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。				先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。																			
	他者の意見や先哲の思想を鏡として自己を客観的に省察し、既存の価値観を粘り強く更新し、よりよい社会の実現を模索している。				倫理的課題に意欲的に取り組み、授業での対話や学びを振り返ること、自己の生き方や社会への関わり方を真面目に考えている。				課題を他人事と捉えて表面的な理解にとどまり、自分の考えを問い直したり、対話を通じて学びを深めようとする姿勢が乏しい。				課題を他人事と捉えて表面的な理解にとどまり、自分の考えを問い直したり、対話を通じて学びを深めようとする姿勢が乏しい。																			
総 時 間 数																				63												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数								
教科名	公民			科目名	倫理					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1章さまざまな人間の心のあり方 第2章さまざまな人生観―源流思想― 第1節古代ギリシアの思想	3 5								
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●				★中間考査	1								
教科書・副教材・（発行所）																													
①教科書：倫理（数研出版：倫理704） ②問題集：倫理整理ノート（数研出版） ③ ④																													
学 習 の 重 点 目 標																													
より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。さらに、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。																													
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																				
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施				①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②発表の内容 探究課題について発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価																				
評 価 の 基 準																													
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																				
					B＋		B－																						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																				
思・判・表	先哲の思想を多角的に活用し、自己の生き方や現代の諸課題について論理的に考察し、根拠を持って自分の考えを表現している。				学習した思想や概念に基づき、自己の生き方や諸課題について複数の視点から考察し、自分の考えを適切に表現している。				先哲の思想と課題の結びつきが不十分であり、客観的な根拠や視点が欠けた主観のみの表現にとどまっている。																				
	先哲の思想を比較・引用し、自己の在り方や現代的課題に結びつけ、客観的根拠に基づき論理的な解決策や意見を構成できている。				学習した先哲の思想を適切に引用し、複数の視点から自己の生き方や現代の課題を考察し、基本的な根拠を基に表現できている。				先哲の思想と課題の結びつきが弱く、主観や感情的な感想にとどまり、客観的根拠や論理的な多角性が不足している。																				
主体性・態度	人間としての在り方に関心を持ち、他者との対話や自己省察を通じて、自らの価値観を客観的に見直し、高めようとしている。				倫理的な課題に意欲的に取り組み、対話や学習内容を振り返ることで、自己の生き方について考えを深めようとしている。				先哲の考えを自分事として捉える姿勢が乏しく、自らの価値観を振り返ったり、対話から学ぼうとしたりする姿勢が不足している。																				
	他者の意見や先哲の思想を鏡として自己を客観的に省察し、既存の価値観を粘り強く更新し、よりよい社会の実現を模索している。				倫理的課題に意欲的に取り組み、授業での対話や学びを振り返ることで、自己の生き方や社会への関わり方を真面目に考えている。				課題を他人事と捉えて表面的な理解にとどまり、自分の考えを問い直したり、対話を通じて学びを深めようとする姿勢が乏しい。																				
総 時 間 数																												64	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史			科目名	政治・経済					C	D	進	特	進	進	特	特	看	第1学期	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能	1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							4月		②法の支配と立憲主義	1
教科書・副教材・（発行所）																		5月		③基本的人権の保障と日本国憲法	1
① 高等学校 政治・経済 （第一学習社）																		6月		④現代社会における新しい人権	1
②																		7月	⑤権利と義務との関係	1	
③																		第2学期	⑥議会制民主主義と世界の政治体制	1	
④																			★中間考査	1	
学 習 の 重 点 目 標																			第1編 第1章 第1節⑦国会の組織と立法	2	
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																			⑧内閣の機構と行政	1	
																		⑨裁判所の機能と司法制度			
																		第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利	2		
																		②政党政治と選挙			
																		第1編 第1章 第3節①経済活動と市場	1		
																		★期末考査			
																		第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環	7		
																		③国民経済の大きさと経済成長	3		
																		④物価と景気変動	1		
																		⑤市場の失敗と公害・消費者問題	1		
																		第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義	1		
																		第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき	1		
																		★中間考査	1		
																		第1編 第1章 第6節①中小企業・農業問題	3		
																		②労使関係と労働問題	3		
																		③社会保障制度と福祉のあり方			
																		第2編 第1章 第1節①国際社会の変遷	3		
																		②国際法の意義	3		
																		③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み	3		
																		★期末考査	1		
																		第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献	1		
																		第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義	4		
																		②国民経済と国際収支	3		
																		③為替相場の変動	3		
																		④国際協調と国際経済機関の役割			
																		第2編 第1章 第4節①日本の国際協力			
																		第2編 第2章 2 地球環境と資源・エネルギー問題	2		
																		5 人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた取り組み	1		
																		★期末考査			
																		2月			
																		3月			
																		総 時 間 数			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民			科目名	政治・経済					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能	2
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●				②法の支配と立憲主義			2	
教科書・副教材・(発行所)																				③基本的人権の保障と日本国憲法	1
① 高等学校 政治・経済 (第一学習社)																		第2学期	6月 7月	⑤権利と義務との関係	1
②																				⑥議会制民主主義と世界の政治体制	1
③																				★中間考查	1
④																		第3学期	8月 9月	第1編 第1章 第1節⑦国会の組織と立法	2
学 習 の 重 点 目 標																				⑧内閣の機構と行政	2
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																				⑨裁判所の機能と司法制度	1
																		第4学期	10月 11月	第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利	1
																				②政党政治と選挙	1
																				第1編 第1章 第3節①経済活動と市場	2
																		第5学期	12月 1月	★期末考查	1
																				第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環	1
																				③国民経済の大きさと経済成長	2
																		第6学期	2月 3月	④物価と景気変動	2
																				⑤市場の失敗と公害・消費者問題	2
																				第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義	2
																		第7学期	4月 5月	第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき	3
																				★中間考查	1
																				第1編 第1章 第6節①中小企業・農業問題	2
																		第8学期	6月 7月	②労使関係と労働問題	2
																				③社会保障制度と福祉のあり方	2
																				第2編 第1章 第1節①国際社会の変遷	2
																		第9学期	8月 9月	②国際法の意義	2
																				③国際機構の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み	1
																				★期末考查	1
																		第10学期	10月 11月	第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献	4
																				第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義	4
																				②国民経済と国際収支	4
																		第11学期	12月 1月	③為替相場の変動	4
																				④国際協調と国際経済機関の役割	4
																				第2編 第1章 第4節①日本の国際協力	5
																		第12学期	2月 3月	★期末考查	1
																		総 時 間 数		67	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	公民			科目名	政治・経済					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	第1編 第1章 第1節①政治と法の意義と機能	1
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●					②法の支配と立憲主義			2	
教科書・副教材・(発行所)																		第1学期	6月 7月	第1編 第1章 第1節②政治と法の意義と機能	2
① 高等学校 政治・経済 (第一学習社)																				第1編 第1章 第2節①地方自治制度と住民の権利	2
②																		第2学期	8月 9月	第1編 第1章 第3節①経済活動と市場	2
③																				第1編 第1章 第3節②経済主体と経済循環	2
④																		第2学期	10月 11月	第1編 第1章 第4節①財政のしくみと租税の意義	3
学 習 の 重 点 目 標																				第1編 第1章 第5節①金融のしくみとはたらき	3
民主主義の本質に関する理解を深めさせるとともに、現代における政治、経済、国際関係などについての客観的な理解をめざす。また、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力をもつ良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。																		第2学期	12月 1月	★中間考査	1
																				第2編 第1章 第2節①日本の安全保障と国際貢献	3
																		第3学期	2月 3月	第2編 第1章 第3節①貿易の現状と意義	3
																				②国民経済と国際収支	3
																		第3学期	2月 3月	③為替相場の変動	3
																				④国際協調と国際経済機関の役割	4
																		第3学期	2月 3月	第2編 第1章 第4節①日本の国際協力	5
																				★期末考査	1
																		総 時 間 数		67	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学Ⅱ				第 1 学期										4月 ～ 5月	1章 複素数と方程式 1節 式の計算 整式の乗法 因数分解 二項定理 分数式 ★中間考査	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●								第 1 学期	6月 ～ 7月	2節 複素数と2次方程式 複素数 2次方程式 解と係数の関係 ★期末考査	9 1
教科書・副教材・（発行所）																					
① 高校数学Ⅱ（実教出版） ② ステップノート数学Ⅱ 新課程版 （実教出版） ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8月 ～ 9月	3節 高次方程式 整式の除法 剰余の定理と因数定理 高次方程式 4節 式と証明 等式の証明 不等式の証明 ★中間考査	14 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第 3 学期	10月 ～ 11月	2章 図形と方程式 1節 点と座標 直線上の点の座標と内分・外分 平面上の点の座標と内分・外分 2節 直線の方程式 直線の方程式 2直線の関係 ★期末考査	13 1					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				2月 ～ 3月	4節 円の方程式 円の方程式 円と直線の関係 軌跡 4節 不等式の表す領域 円で分けられる領域 直線で分けられる領域 4節続き 連立不等式の表す領域 各種練習問題 ★期末考査	12 7 1						
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				総 時 間 数	68							
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学A												4 月 ～ 5 月	学 習 内 容	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →	●								第 1 学 期	第1章 場合の数と確率 場合の数 集合と要素・集合の要素の個数 場合の数・順列・組み合わせ	4 4	
教科書・副教材・（発行所）																★中間考査	1	
① 実教出版 高校数学A 新訂版 ② 実教出版 ステップノート 数学A 新訂版 ③ ④																第1章 場合の数と確率 確率 事象と確率 いろいろな事象の確率 独立な思考とその確率 反復試行とその確率・期待値 ★期末考査	2 2 3 2 1	
学 習 の 重 点 目 標																6 月 ～ 7 月		
①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。															8 月 ～ 9 月	第2章 図形の性質 三角形の性質 三角形の角・線分の比 三角形の外心・内心・重心 ★中間考査	6 7 1	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	10 月 ～ 11 月	第2章 図形の性質 円の性質 円周角・円と四角形 円の接線・方べきの定理・2つの円 空間図形 ★期末考査	3 6 4					
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価				第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	第3章 数学と人間の活動 数と人間 数の歴史 二進法とコンピュータ 整数の性質とユークリッドの互除法	3 3 3				
	評価の基準											2 月 ～ 3 月	図形と人間 図形と人間 相似と測定 座標の考え方 ★期末考査	1 1 1 1				
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）											
	B＋			B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			総 時 間 数	59				
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。								
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ			4 月 ～ 5 月	6 月 ～ 7 月														
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●								第 1 学 期	(数学Ⅰの内容から始め) 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	10		
教科書・副教材・(発行所)																			中間検査	1		
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ (数研出版) ② 副教材：4プロセス 数学Ⅱ＋B＋C (数列, 統計的な推測, ベクトル) (数研出版) ③ ④																			第5章 データの分析	13		
学 習 の 重 点 目 標																			期末検査	1		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度							第 2 学 期	8 月 ～ 9 月		7 11 1			
	①定期検査の出来具合 検査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間程度の小テストを実施				①定期検査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期検査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期検査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価								10 月 ～ 11 月		5 1			
評 価 の 基 準																						
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)							第 3 学 期	12 月 ～ 1 月		6 13			
	B＋				B－												2 月 ～ 3 月		2 1			
知・技	定期検査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期検査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期検査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期検査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。							復習		2
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											期末検査		1
思・判・表	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
																				総 時 間 数		87

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学			科目名	数学Ⅱ															第 1 学期	4 月 ～ 5 月	
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →								●					第 1 学期	6 月 ～ 7 月	第5章 データの分析	13
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																						
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ (数研出版)																						
② 副教材：4 プロセス 数学Ⅱ + B + C (数列, 統計的な推測, ベクトル) (数研出版)																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。																						
①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。																						
②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。																						
③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間程度の小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価													
評 価 の 基 準																						
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)													
					B +		B -															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができています。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
総 時 間 数																						87

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学Ⅱ														
単位数	4	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →						●	●		第 1 学 期	4 月 5 月	数学Ⅰ 第 5 章 データの分析 数学Ⅱ 第 1 章 式と証明 第 1 節 式と計算 第 2 節 等式・不等式の証明 数学Ⅱ 第 2 章 複素数と方程式 第 1 節 複素数と 2 次方程式の解 中間検査	16 1
教科書・副教材・（発行所）																		
① 教科書：高等学校 数学Ⅱ（数研出版） ② 副教材：4 プロセス 数学Ⅱ＋B＋C（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版） ③ 副教材：チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B＋C（ベクトル）（数研出版） ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学 期	8 月 9 月	数学Ⅱ 第 3 章 図形と方程式 第 2 節 円 第 3 節 軌跡と領域 数学Ⅱ 第 4 章 三角関数 第 1 節 三角関数 中間検査	25 1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての 10 分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況の評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価											
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第 3 学 期	10 月 11 月	数学Ⅱ 第 4 章 三角関数 第 2 節 加法定理 数学Ⅱ 第 5 章 指数関数と対数関数 第 1 節 指数関数 期末検査	25 1					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が 80 点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			B＋		B－		定期考査と小テストの合計得点が 30 点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数															116			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学			科目名	数学B					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	4月 5月		(高等学校 数学A) 第3章 数学と人間の活動 第1節 整数の性質 約数、倍数、素数、素因数分解 最大公約数、最小公倍数 ★中間考査
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●					1				
教科書・副教材・(発行所)																						
①教科書：高等学校 数学B（数研出版：数B711） ②補助教材：高等学校 数学B ナビゲーションノート（数研出版） ③問題集：4プロセス 数学Ⅱ＋B＋C（数列，統計的な推測，ベクトル）（数研出版） ④補助教材：4プロセス 数学B 完成ノート（数研出版）																						
学 習 の 重 点 目 標																	第1学期	6月 7月	(高等学校 数学B) 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 数列と一般項、等差数列、等比数列の和 ★期末考査	8		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 問題は問題集の内容を中心に 作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について の10分間小テストを実施				①定期考査毎に問題集への取り 組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レ ポートの記述内容を評価 ③グループ活動や発表の内容を 評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートやノートの提出 状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評 価・振り返り課題の提出状況 や記述内容を評価													
	評 価 の 基 準																	第2学期	8月 9月	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 和の記号Σ、階差数列、いろいろな数列の和 第3節 漸化式と数学的帰納法 ★中間考査	14	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点 が80点以上であり、基本から 応用まで万遍なく理解すること ができている。				定期考査と小テ ストの合計得点 が55～79点 である。		定期考査と小テ ストの合計得点 が30～54点 である。		定期考査と小テストの合計得点 が30点未満であり、基本的な 知識や概念があまり理解できて いない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に 積極的に取り組み、自分の考え を発表したり、適切に表現する ことができている。				探究的な課題やグループ活動に 取り組み、ある程度自分の考え を述べたり、表現することがで きている。				探究的な課題やグループ活動に あまり取り組むことができてい ない。								第3学期	12月 1月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 母集団と標本、標本平均の分布	20		
	応用的な問題にも計画的に取り 組み、論理的な思考力や的確な 判断力を身に付けることができ ている。				応用的な問題に取り組み、ある 程度の思考力や判断力が身につ いてきている。				応用的な問題にあまり取り組む ことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習 に取り組み、グループ活動にお いても積極的に発言することが できる。				真面目に学習に取り組んではい るが、もう少し積極性を要する 部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に 取り組めていない。								第3学期	2月 3月	第2節 統計的な推測 推定、仮説検定 ★期末考査	1		
	振り返るべき内容をきちんと考 えて表現することができ、次の 取り組みにしっかり活かすこと ができている。				振り返るべき内容を表現するこ とはできているが、次の取り組 みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考え ることができていない。													
総 時 間 数																	66					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学		科目名	数学B			4 月 ～ 5 月	第1 学期	7													
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●						第1 学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列			
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																			6 月 ～ 7 月	中間検査	1	
① 教科書：高等学校 数学B (数研出版) ② 問題集：4 プロセスⅡ+B+C (数列, 統計的な推測, ベクトル) (数研出版) ③ ④																				第1章 数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	9	
学 習 の 重 点 目 標																				期末検査	1	
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。 ①基本概念を体系的に理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。 ②論理的に考察する力、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する力を養う。 ③粘り強く柔軟に考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2 学期	8 月 ～ 9 月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	12									
評価の趣旨	①定期検査の出来具合 検査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間程度の小テストを実施			①定期検査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期検査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期検査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価				中間検査	1										
	評 価 の 基 準										10 月 ～ 11 月	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測	15									
		A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)															
知・技	定期検査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期検査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期検査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期検査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			期末検査	1										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			12 月 ～ 1 月	第3 学期	16										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。															
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2 月 ～ 3 月	復習	3										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。															
総 時 間 数																		67				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数	
教科名	数学		科目名	数学B											第1 学期	4 月 ～ 5 月	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列			10
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →							●	●				第1 学期	6 月 ～ 7 月	
教科書・副教材・（発行所）															★中間 ★期末 ★					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学		習	内	容	時数
教科名	理科			科目名	化学基礎					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	1章 物質の構成	1節 物質の探究	4		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●						1章 物質の構成	2節 物質の探究	4		
教科書・副教材・（発行所）																		第2学期		4月 ～ 5月	【中間考査】		1	
① 教科書：化学基礎新訂版（実教出版：生基007-902） ② 化学基礎新訂版 エブリィノート 授業まとめ ③ 問題集：アクセスノート化学基礎改訂版 ④																			2章 物質と化学結合		1節 イオン結合	4		
																			2章 物質と化学結合		2節 共有結合と分子間力	4		
学 習 の 重 点 目 標																		第3学期	6月 ～ 7月	【期末考査】		1		
① 主体的に自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。 ② 主体的に物質とその変化に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。																				2章 物質と化学結合	3節 金属結合	2		
																				2章 物質と化学結合	4節 化学結合と物質	7		
評価の趣旨																		第2学期	8月 ～ 9月	3章 物質の変化	1節 物質量と化学反応式	5		
																				【中間考査】				
評 価 の 基 準																		第2学期	10月 ～ 11月	3章 物質の変化	2節 酸と塩基	6		
知・技																				【期末考査】		7		
																		思・判・表						
3章 物質の変化	3節 酸化還元反応	4																						
主体性・態度																		第3学期	2月 ～ 3月	3章 物質の変化	3節 酸化還元反応	6		
																				【期末考査】		1		
																		総 時 間 数		59				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース								未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学基礎			4 月 5 月										第 1 学 期	序章 化学と人間生活		1 8 10	
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →		●	6 月 7 月	第 2 学 期	3 章 物質の変化		1 節 物質量と化学反応式	12 12							
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）											8 月 9 月	第 3 学 期	終章 化学が拓く世界		3 節 酸化還元反応	13 1					
学 習 の 重 点 目 標								10 月 11 月	12 月 1 月												
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			2 月 3 月					総 時 間 数	57					
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての 1 0 分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）														
				B＋	B－																
知・技	定期考査と小テストの合計得点が 8 0 点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が 5 5 ～ 7 9 点である。			定期考査と小テストの合計得点が 3 0 ～ 5 4 点である。			定期考査と小テストの合計得点が 3 0 点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																	57				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																						
教科名	理科			科目名	化学基礎					D	学	特	進	文	理	護	第1学期		4月	1章1節 物質の探究 1～3 1章2節 物質の構成粒子 1～3		5 5																					
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●				5月	【中間考査】	1																					
教科書・副教材・（発行所）																			第2学期	6月	2章1節 イオン結合 1～2 2章2節 共有結合と分子間力 1～2 2章3節 金属結合 1～2	5 5 3																					
① 教科書：化基007-902「化学基礎 新訂版」（実教出版） ② 副教材：化学基礎 新訂版 エブリィノート 授業のまとめ（実教出版） ③ 副教材：アクセスノート化学基礎 改訂版（実教出版） ④																				7月	【期末考査】	1																					
																				学 習 の 重 点 目 標																			第3学期	8月	2章4節 化学結合と物質 1～2 3章1節 物質と化学反応式 1～4	7 13	
																				物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養																				9月	【中間考査】 3章2節 酸と塩基 1～4	1 20	
	知識・技能			思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度					知・技	10月	【期末考査】 3章3節 酸化還元反応 1～4		1 11																									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価					①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						評 価 の 基 準		11月	【期末考査】 3章3節 酸化還元反応 1～4	11 1																								
															A（十分満足できる状況）					B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）																					
																				B＋	B－																						
															定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																				
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					第3学期	12月	【期末考査】 3章3節 酸化還元反応 1～4	11																										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができています。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。					応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						1月																												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					第4学期	2月	3章3節 酸化還元反応 1～4 【期末考査】	11 1																										
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができています。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						3月																												
総 時 間 数																			90																								

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未創	進探	特進	C D	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科			科目名	化学基礎															第 1 学期	4月 5月		序章 化学と人間生活 1章 物質の構成 2章 物質と化学結合
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →											●		第 2 学期	6月 7月	3章 物質の変化 1節 物質量と化学反応式 2節 酸と塩基	12 12	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		第 3 学期		10月 11月			
① 教科書：化基007-901「化学基礎 academia 新訂版」（実教出版） ② 副教材：エクセル化学総合版 化学基礎＋化学（実教出版） ③ ④																				第 3 学期	12月 1月		
学 習 の 重 点 目 標																					2月 3月		
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。(1)日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。(3)物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養																			総 時 間 数		55		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				評価の趣旨	第 2 学期	8月 9月	終章 化学が拓く世界 3節 酸化還元反応	12 1						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）		知・技	第 3 学期	10月 11月												
					B＋	B－					12月 1月												
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				思・判・表	第 3 学期			2月 3月								
													探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。		主体性・態度	第 3 学期	2月 3月
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。		主体性・態度	第 3 学期													2月 3月
													予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				主体性・態度
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
																							主体性・態度
											主体性・態度	第 3 学期											
																					主体性・態度	第 3 学期	
									主体性・態度	第 3 学期													
													</										

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学		単位数	2	学科	普通科										学年	2 年	該当するコース・科 →	第 1 学期	
教科書・副教材・（発行所）																							
① 教科書：化学703「化学academia」（実教出版）																							
② 副教材：アクセスノート化学（実教出版）																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。(3)化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																							
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8 月 ～ 9 月									
	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
	評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）														
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				B＋				B－				第 3 学期	10 月 ～ 11 月	序章 1 章 物質の状態と平衡 1 節 状態変化 2 節 固体の構造 3 節 気体の性質 4 節 溶液		1 4 5 5 6						
					定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第 3 学期	12 月 ～ 1 月	2 章 物質の変化と平衡 1 節 化学反応と熱・光エネルギー 2 節 化学反応と電気エネルギー 3 節 反応の速さとしくみ 4 節 化学平衡		6 6 5 5						
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第 3 学期	2 月 ～ 3 月	3 章 無機物質 1 節 元素と周期表 2 節 非金属元素		2 6						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																		51					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	化学		単位数	2	学科	普通科										学年	2 年	該当するコース・科 →		
教科書・副教材・（発行所）																							
① 教科書：化学703「化学academia」（実教出版）																							
② 副教材：エクセル化学総合版 化学基礎＋化学（実教出版）																							
③																							
④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のように育成することを目指す。(1)化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に着けるようにする。(2)観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。(3)化学的な事物・事象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。																							
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度														
	①定期考查の出来具合 考查の問題は教科書や副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施				①定期考查毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②振り返りシートや課題提出の記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価				①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考查後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
評 価 の 基 準																							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）														
					B＋		B－																
知・技	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。				定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。														
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。														
	応用的な問題にも計画的に組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
56																							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	生物基礎															
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●						第1 学期	4 月 ～ 5 月	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 1 生物の多様性・共通性 / 2 生物の共通性と進化 3 細胞 2節 生物とエネルギー 1 代謝とエネルギー / 2 酵素と代謝 ★中間考査	12 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）							第2 学期	6 月 ～ 7 月	3 光合成 / 4 呼吸 / 5 エネルギーの流れ 2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 1 遺伝子の本体 / 2 DNAの複製と分配 特集 DNAの研究の歴史①・② 2節 遺伝情報とタンパク質の合成 1 遺伝子とタンパク質 ★期末考査	14 1									
学 習 の 重 点 目 標									8 月 ～ 9 月	2 タンパク質の合成 / 3 遺伝子の発現 4 ゲノムと遺伝子 / 特集 食を支える遺伝子研究 3章ヒトのからだの調節 1節 体内環境 1 体内環境と恒常性/2体液とその働き/3体液の調節 2節 体内環境の維持のしくみ 1 情報の伝達 ★中間考査	19 1								
評 価 の 基 準								10 月 ～ 11 月		2 自律神経による情報伝達 / 3 内分泌系による調節 4 内分泌系と自律神経系による調節 3節 免疫 1 生体防御と免疫 / 2 自然免疫のしくみ 3 獲得免疫のしくみ / 4 免疫と疾患 特集 風邪をひいた / 人類と感染症の歴史 ★期末考査	22 1								
A（十分満足できる状況）									B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）								
							B＋	B－											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。									
思・判・表	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。									
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。									
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。									
総 時 間 数																	93		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科		科目名	生物																		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●		●		第1 学期	4月 ～ 5月	3編1章 体内環境と情報伝達 1～4節 3編2章 免疫のはたらき 1～3節	6 7	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			6月 ～ 7月	【中間考査】	1	
① 生物基礎・ニューグローバル生物基礎・（東京書籍） ② 生物・ニューグローバル生物・（東京書籍） ③ ④																				4編1章 植生と遷移 1～3節 4編2章 生態系と生物の多様性 1～2節 4編2章 生態系と生物の多様性 3～4節	4 5 4	
学 習 の 重 点 目 標																				【期末考査】	1	
自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											第2 学期	8月 ～ 9月	1編1章 生命の起源と細胞の進化 1～3節 1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 1～3節	9 9	
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施												【中間考査】	1		
	評 価 の 基 準																		10月 ～ 11月	1編2章 遺伝子の変化と進化のしくみ 4～5節 1編3章 生物の系統と進化 1～4節	8 11	
		A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											【期末考査】	1
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											12月 ～ 1月	2編1章 細胞と物質 1～6節	20		
	発展的な内容も意欲的に学習し、身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。			発展的な内容も学習し、ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。			発展的な内容を学習することができていない。														【期末考査】	1
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。											2月 ～ 3月	2編2章 代謝とエネルギー 1～4節	2		
	振り返るべき内容をきちんと考え、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容は考えられているが、次の取り組みに活かすことがあまりできていない。			振り返るべき内容をあまり考えられていない。															
総 時 間 数																		90				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅠ											第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	Lesson 1 World Dance Performances		
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →		●									第 2 学 期	6 月 ～ 7 月	Lesson 2 A Piece of Cake
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)															第 3 学 期	8 月 ～ 9 月			Lesson 3 Quokka
① VISTA English Communication Ⅱ(三省堂) ② VISTA English Communication Ⅱ WORKBOOK(三省堂) ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 Workbook2																	第 4 学 期	10 月 ～ 11 月	Lesson 4 Designing Stamps
学 習 の 重 点 目 標															第 5 学 期	12 月 ～ 1 月			Lesson 5 Mont-Saint-Michel
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																	第 6 学 期	2 月 ～ 3 月	Lesson 6 Smart Agriculture
評 価 の 基 準															総 時 間 数				87
知・技	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）								思・判・表				
思・判・表	定期考查と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考查と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考查と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考查と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。					主体性・態度				
主体性・態度	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。			課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。			課題や提出物にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。			英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	英語コミュニケーションII					D	学	進	文	理	文	理	護		第1学期	Lesson 1 A Swedish Girl' s Discoveries in Japan Part 1 Part 2 Part 3	
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →								●	●						
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① 教科書：Landmark Fit English Communication II（啓林館） ② 問題集：Landmark Fit English Communication II WORKBOOK（啓林館） ③ 書き込み式ノート英単語ターゲット1400 Part2，3（旺文社） ④ Scramble Basic 3rd edition 英文法・語法（旺文社）																					
学 習 の 重 点 目 標																					
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																					
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。				課題や提出物の出来具合と内容により評価する。				日常の学習態度、授業中の取り組みやペアワークでの積極的な活動などを評価する。												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
					B＋		B－														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。				課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。				課題や提出物にあまり取り組むことができていない。												
	課題内容に＋αで自分なりに分析、補足などを行っている。				課題内容をきちんとこなしている。				課題内容を満たしていない。												
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																	115				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅡ																		
単位数	4	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →									●	●		第1 学期	4月 ～ 5月	◎イントロダクション ◎LESSON1：A Swedish Girl's Discoveries in Japan ☆中間考査	13	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																						
① 教科書：LANDMARK English Communication Ⅱ（啓林館） ② 問題集：LANDMARK English Communication Ⅱ ワークブック（啓林館） ③ 副教材：改訂版 必携 英単語帳 LEAP（数研出版） ④																						
学 習 の 重 点 目 標																						
外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の5つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事 を目標とする。また、言語活動やそれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的 確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 （1）聞くこと（2）読むこと（3）話すこと〔やり取り〕（4）話すこと〔発表〕（5）書くこと																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の得点 （教科書および副教材、単語帳 の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （単語帳の内容に関して毎週 小テストを実施）				①グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する 活動を定期的に実施） ②提出物・レポート・プレゼン の内容 （単元ごとに課題を実施）				①授業中の態度・意欲 ②ペア・グループ活動の態度・ 意欲 ③提出物の状況（問題集等）													
評 価 の 基 準																						
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）													
					B＋		B－															
知・技	定期考査と小テストの合計得点 が80点以上であり、基本から 応用まで万遍なく理解すること ができている。				定期テストと小 テストの合計得 点が55～79 点である。		定期テストと小 テストの合計得 点が30～54 点である。		定期考査と小テストの合計得点 が30点未満であり、基本的な 知識や概念があまり理解できて いない。													
思・判・表	探究的な課題やグループ・ペア 活動に積極的に取り組み、自分 自身の考えを発表したり、適切 に表現できている。				探究的な課題やグループ・ペア 活動に取り組み、ある程度自分 自身の考えを述べたり、適切に 表現できている。				探究的な課題やグループ・ペア 活動にあまり取り組むことがで きていない。													
	日常や社会的な話題について英 語を通して十分に理解し、自分 自身の考えをしっかりとまとめ ることができている。				日常や社会的な話題について英 語を通してある程度理解し、自 分自身の考えをまとめることが できている。				日常や社会的な話題について英 語を通して理解することができ ていない。													
主体性・態度	グループ・ペア活動において相 手に配慮しながら、積極的に発 言することができる。				グループ・ペア活動において相 手への配慮はできているが、も う少し積極性を要する部分があ る。				コミュニケーションを取ること ができている。													
	粘り強く学習し、前向きな姿勢 で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組ん でいる。				あまり前向きな姿勢で学習に取 り組めていない。													
総 時 間 数																		12月 ～ 1月	◎LESSON8：Edo - A Sastinable Society	17		
																		2月 ～ 3月	◎LESSON10：Our Future with AI ☆期末考査	12		
総 時 間 数																				109		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース											C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅰ						D	学	特	進	進	特	特	看	第 1 学期	Lesson 5	3	
単位数	3	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →						●								Lesson 6	2	
教科書・副教材・（発行所）																		Lesson 7		4		
① Revised BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ（数研出版）																		第 2 学期	4 月 5 月	Lesson 8	4	
② Revised BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ レッスンブック Grammar in 21 Lessons（数研出版）																						
③																						
④																						
学 習 の 重 点 目 標																		第 3 学期	6 月 7 月	Lesson 9	5	
①英語の文構造や論理表現を理解させ、適切な文章を作ることができることを目指す。																						
②複雑な日本語の表現にとらわれず、自分が持っている語彙で表現しようとする意欲を養う。																		第 4 学期	8 月 9 月	Lesson 10	6	
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 5 学期	10 月 11 月	Lesson 11	5						
評価の趣旨	英語の文構造の決まりや特徴を理解している。				自分の意思を伝える表現力を身に着けている。 それを伝えるために、文の構造や論理展開に注意しながら、適切な英語の文章を作ることができる。				書き手、読み手にも自分の意思が伝わるように、分構造や論理展開に注意しながら、英語の文章を作ろうとしている。								Lesson 12	6				
評 価 の 基 準																		第 6 学期	12 月 1 月	Lesson 13	6	
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				Lesson 14	6								
					B＋		B－						Lesson 15	5								
知・技	定期試験と小テストの合計得点が80点以上であり、学んできた事項を理解していることが見受けられるとき。				定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。						Lesson 16	5						
思・判・表	授業または提出課題の内容で、学んだ事項を適切に理解できていると見受けられ、正しく応用できているとき。				課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。				提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。				Lesson 17	5								
															Lesson 18	5						
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。				提出物を最終提出期限内に提出できている。既習事項が定着していると考えられるとき。				提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。				Lesson 19	7								
	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。				授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。				ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。						Lesson 20	7						
総 時 間 数																		Lesson 20	1			
77																						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未 創	進 探	特 進	C D	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現Ⅱ																		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●	●							第1 学期	4月 5月	Introduction Lesson 1 What is your future goal? Lesson 2 What school events do you have?	2 2 2	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																						
① Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope (啓林館) ② Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope WORKBOOK (啓林館) ③ 副教材：Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ 副教材：SCRAMBLE Basic 英文法・語法 3rd Edition																						
学 習 の 重 点 目 標																						
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																						
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第2 学期	8月 9月	Lesson 4 Is social media safe? Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some differences? Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?		4 5 5 5							
評価の趣旨	①定期考査の得点 （教科書および副教材の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （文法事項毎に小テストを実施）			①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する活動を定期的に実施） ③ライティング課題の内容			①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況															
	評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）																
				B＋		B－						第3 学期	10月 11月	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich? Lesson 10 How might AI affect our lives?		5 5 5 5						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。														
	思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。															
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。																	
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。			グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。		コミュニケーションを取ることができていない。																
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。			概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。																
総 時 間 数																	80					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	論理・表現Ⅱ					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	Introduction Lesson 1 What is your future goal? Lesson 2 What school events do you have?		1 6 6
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →										●	●				
教科書・副教材・（発行所）																		第1学期			
① Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope（啓林館） ② Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope Workbook（啓林館） ③ Vision Quest 総合英語 3rd Edition ④ SCRAMBLE 英文法・語法 5th Edition																			★中間考査		1
学 習 の 重 点 目 標																		第1学期	Lesson 3 Who is the best athlete? Lesson 4 Is social media safe?		7 7
「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。																			★期末考査		1
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期								
評価の趣旨	①定期考査の得点 （教科書および副教材の内容を中心に作問） ②小テストの得点 （文法事項毎に小テストを実施）				①問題集の取り組み内容 ②グループ・ペア活動の内容 （英語で自分の考えを表現する活動を定期的実施） ③ライティング課題の内容				①授業中の態度や意欲 ②ペア・グループ活動 ③提出物の状況					Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some differences? Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English?		8 8 4					
													★中間考査		1						
評 価 の 基 準																		第2学期			
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich?		4 8 8						
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。				定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。				第2学期	★期末考査		1	
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。				第3学期	Lesson 10 How might AI affect our lives? Lesson 11 What is a healthy life?		7 4					
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。 粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。 概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。				コミュニケーションを取ることができていない。 あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。				第3学期	Lesson 11 What is a healthy life? Lesson 12 What is important when we sell chocolate?		3 7					
														★期末考査		1					
総 時 間 数																				93	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	外国語【英語】			科目名	実践英語 I					D	学	特	進	進	特	特	看	第 1 学期	4 月 5 月	Introduction Lesson 1 日常会話 Lesson 2 とある人物のできごと	1 7
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →				●							6 月 7 月			Lesson 3 Eメール・電話 Lesson 4 掲示・広告・アナウンス 期末考査	9 1
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																					
① Interactive 4 skills ① CEFR A2 LEVEL (旺文社) ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第 2 学期	8 月 9 月	Lesson 5 物語	11					
評価の趣旨	各学期毎に、原則として期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。				ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりなどを評価する。				日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。						10 月 11 月	Lesson 6 社会問題 Lesson 7 環境 期末考査	12 1				
評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)					第 3 学期	12 月 1 月	Lesson 8 自然 Lesson 9 科学・テクノロジー	8				
					B +		B -									2 月 3 月	Lesson 10 歴史・文化	4			
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。					第 3 学期	2 月 3 月		Lesson 10 歴史・文化	4			
思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度表現し理解することができている。		英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。				Lesson 10 歴史・文化			1					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		振り返るべき内容をあまり考え												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考え				総 時 間 数				55						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数													
教科名	保健体育			科目名	体育（男子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	10													
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									6月 ～ 7月	バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	13													
教科書・副教材・（発行所）																																		
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2025〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																																		
学 習 の 重 点 目 標																																		
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																									
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度																									
評 価 の 基 準																																		
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																									
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技				実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考																					
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																									
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																									
総 時 間 数																																		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	保健体育			科目名	体育（男）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月～5月	オリエンテーション スポーツテスト② ハンドボール （パス・ドリブル・シュート） ○実技試験	8	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →						●	●						学 期	6月～7月	ハンドボール （対人・ゲーム） ○実技試験	9
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																						
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2025〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		第2学期	8月～9月	スポーツテスト① バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム） ○実技試験	12	
学 習 の 重 点 目 標																						
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																						
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第3学期	10月～11月	陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ） ○実技試験	12						
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度					12月～1月	バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	10						
															評 価 の 基 準							
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				学 期	2月～3月	体育理論 ●期末考査	6						
					B＋		B－							1								
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考				6									
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。				第3学期	2月～3月	体育理論 ●期末考査	6						
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					1								
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				学 期	2月～3月	体育理論 ●期末考査	6						
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					1								
総 時 間 数																		58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数																										
教科名	保健体育			科目名	体育（女子）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② ハンドボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	11																										
単位数	3	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									6月 ～ 7月	ハンドボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム） ○実技試験	15																										
教科書・副教材・（発行所）																																															
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2025〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																																															
学 習 の 重 点 目 標																																															
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																																															
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																																						
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考查の出来具合				①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み				①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度																																						
評 価 の 基 準																																															
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																																						
					B＋		B－																																								
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考查。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技テストと定期考查。		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技テストと定期考查。		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考																																						
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。																																						
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																																						
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。																																						
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																																						
																														</																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数
教科名	保健体育			科目名	体育（女）					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月 ～ 5月	オリエンテーション スポーツテスト② ハンドボール （パス・ドリブル・シュート）	8
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●								6月 ～ 7月	ハンドボール （対人・ゲーム）
教科書・副教材・（発行所）																			○実技試験		
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2025〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		第2学期	8月 ～ 9月	スポーツテスト① バレーボール （アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ・ゲーム）	12
学 習 の 重 点 目 標																				○実技試験	
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			第3学期	10月 ～ 11月	陸上競技 （走り幅跳び・砲丸投げ）
評 価 の 基 準																		○実技試験			
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				知・技	思・判・表	主体性・態度	総 時 間 数	58				
					B＋		B－														
実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考查。				実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技テストと定期考查。		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技テストと定期考查。		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考				3学期のみ実技テストと定期考				バスケットボール （パス・ドリブル・シュート・対人・ゲーム）	10				
グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				○実技試験					
応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				体育理論	6				
運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。				真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				●期末考查	1				
振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期		学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	音楽Ⅱ											第 1 学期	4 月 5 月	歌唱…歌唱①校歌他（ポピュラー） 創作…音楽探究活動 楽典…音楽理論①		
単位数	2	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →		●									第 1 学期	6 月 7 月	創作…音楽探究活動 器楽…リコーダー②ソロ 歌唱…歌唱②（ポピュラー） 実技テスト及びプレゼン発表 筆記試験
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																			
① MOUSAⅡ ② 音楽の研究プリント ③ ワークプリント ④ クロムブック																			
学 習 の 重 点 目 標																			
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる応用的な資質・能力を育成する。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8 月 9 月	歌唱…歌唱③（心の歌） 鑑賞…舞台芸術に触れよう②（能楽・歌舞伎） 音楽史① 器楽…リコーダー②デュエット 楽典…音楽理論②		2 3 2 3 1					
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】			自己のイメージをを持って音楽的表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】			主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】												
評 価 の 基 準																			
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第 2 学期	10 月 11 月	歌唱…歌唱④（ヴォーカルアンサンブル） 創作…お知らせ音 楽典…音楽理論③ 実技テスト及びプレゼン発表 筆記試験		3 4 2 1 1					
知・技	学習活動に必要な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。			学習活動に必要な知識や技能が概ね身についている。			学習活動に必要な知識や技能がある程度身についている。					学習活動に必要な知識や技能、理解力が不足しており、試験や発表に反映できていない。							
思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができる。			演奏方法を工夫しながら知識や技術がある程度身につけることができる。			演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができていない。			第 3 学期	12 月 1 月	創作…作曲 グループ発表 楽典…音楽理論④ 実技テスト及びプレゼン発表 筆記試験		8 1 1 1					
	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができています。			楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができています。			教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができていない。												
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。			楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。			楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。			2 月 3 月	課題レポート（1年間のまとめ）		2						
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。			楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。			楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。												
総 時 間 数															52				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	美術Ⅱ																	
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●							第1学期	4月 ～ 5月	・ミーティング 【絵画】スケッチ 【デザイン】デジタル練習 【デザイン】ポスター作品（北高フォトキャラバン） 【鑑賞】作品鑑賞	1 1 1 4 2
教科書・副教材・（発行所）																					
① 高校美術2（38-光村・美Ⅱ-701） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	8月 ～ 9月	【絵画】スケッチ 【デザイン】写真加工 【木工】木箱デザイン 【デザイン】ポートフォリオ 【鑑賞】作品鑑賞	1 3 7 2 1					
評価の趣旨	①作品の出来具合（作品完成度） ②レポートの出来具合				①作品の表現力（独創的・オリジナリティ） ②作品制作の進捗具合				①授業態度（教師の観察） ②学習意欲（制作進捗度合い） ③提出物等												
	評 価 の 基 準																				
		A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）											
					B＋				B－												
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。				10月 ～ 11月	【絵画】スケッチ 【デザイン】色の表現（モノクロの世界） 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 5 2 1		
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。				第3学期	12月 ～ 1月	【絵画】スケッチ 【デザイン・工芸】モダンテクニック 【デザイン】ポートフォリオ 【鑑賞】作品鑑賞	1 6 3 2					
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。				自分の考えをある程度、表現することができる。				自分の考えを思い通りに表現することができる。												
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。				2月 ～ 3月	【絵画】スケッチ 【デザイン】ポートフォリオ 【課題】レポート	1 3 1						
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。				制作において、積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで制作に取り組めていない。												
総 時 間 数																	58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	芸術		科目名	書道Ⅱ			4 月 ～ 5 月	6 月 ～ 7 月													
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →			●								第1 学期	漢字の変遷と様々な書体 漢字の書（篆書）泰山刻石 （隸書）乙瑛碑 （草書）十七帖	1 4 1 2		
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																					
① 書Ⅱ（38光村．書道Ⅱ704） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方．考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質．能力を育成することを目指す。																					
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①毎時間作品の提出によって完成度を評価する。 ②小テストによって評価する。			①作品の独創的表現力によって評価する。 ②作品の価値と根拠をよく考え書の良さや美しさを味わって捉えているか評価する			①授業中の態度 ②学習意欲 ③提出物・忘れ物等														
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）															
知・技	作品創作の為の技能・知識を正確に理解し十二分に身に付けている。			B＋ ほぼ理解し概ね身に付けている。		B－ 理解しようとしているがあまり身に付けていない。		理解しようとし ていない。													
思・判・表	創造的な構想や表現が意図的に基づいてよく工夫し表現することが十二分にできている。 書に対する見方、考え方捉え方をよく考察し述べるができる。			創造的な構想や表現が概ねできている。		概ね自分の見方、考え方、捉え方を述べるができる。		創造的な構想や表現があまりできていない。 書に対する見方、考え方捉え方ができていない。													
主体性・態度	積極的に与えられた課題や作品創作に取り組んでいる。 積極的に鑑賞の各活動に取り組んでいる。			作品創作において、積極的に取り組もうとしている。		鑑賞の各活動に積極的に取り組もうとしている。		作品創作に全く取り組んでいない。 鑑賞の各活動に取り組もうとしない。													
総 時 間 数																	52				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										未来	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	家庭			科目名	家庭基礎													第1学期	4月 ～ 5月	第6章 食生活をつくる	9
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●								6月 ～ 7月	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	5 5
教科書・副教材・（発行所）																			★期末考查		1
① 教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍） ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考查の出来具合 教科書の内容を中心に作問 ②作品または小テストの出来具合				①練習問題や課題への取組状況や記述内容を評価。 ②単元毎の探究課題レポートの内容を評価。 ③探究課題について、グループ活動状況や発表の内容及び伝え方を評価。				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント ③各単元終了後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価												
評 価 の 基 準																					
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）												
					B＋		B－														
知・技	定期考查と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。				定期考查と作品または小テストの合計得点が55～79点である。		定期考查と作品または小テストの合計得点が30～54点である。		定期考查と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。				課題を設定し、解決策を構想することが概ねできている。				課題を設定し、解決策を構想することができていない。												
主体性・態度	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、各単元の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。												
2月 ～ 3月																		第10章 持続可能な生活を営む ★期末考查	2 1		
総 時 間 数																		55			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース										C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	家庭			科目名	子どもの発達と保育					D	学	特	進	進	特	特	看	第1学期	4月	第1章 子どもの保育	2		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →				●									5月	第2章 子どもの成長 1節 子どもの発達の特徴 2節 子どものからだの発達	2		
教科書・副教材・（発行所）																			第1学期	6月	3節 子どもの心の発達 第4章 子どもの文化	5	
① 教科書：保育基礎（実教出版） ② ③ ④																				7月			5
学 習 の 重 点 目 標																				★期末考查			
保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解し，関連する技術を身につけ，保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。																		8月	子どもとかかわってみよう（保育実習）	5			
評価の趣旨	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度				第2学期	9月	第3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護	7							
	①定期考查の出来具合 教科書の内容を中心に作問 ②作品または小テストの出来具合				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント ③自己評価・振り返り 単元終了後に自己評価や振り返りを実施					10月			2節 生活習慣の形成 3節 健康管理と事故防止	6					
	評 価 の 基 準																		11月	★期末考查	1		
	知・技	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）				第3学期	12月	5章 子どもの福祉 1節 子ども観 2節 子どもの福祉	5						
定期考查と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。				定期考查と作品または小テストの合計得点が55～79点である。				定期考查と作品または小テストの合計得点が30～54点である。				1月	5										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ていない。					2月	3節 子育て支援	2							
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。				3月				★期末考查	1					
主体性・態度	課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。				総 時 間 数		52								
	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。				子どもの発達や保育への関心を持ち、学習に取り組むことはできているが、もう少し実践的な態度を身につける余地がある。				子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度が身につけていない。														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	情報		科目名	情報探究Ⅰ												学 習 内 容		
単位数	2	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →		●							第1 学期	4 月 ～ 5 月	全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集2級 実技問題1～10	8
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		
① 全商情報処理検定テキスト3級 [ビジネス情報部門] (実教出版) ② 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集2級 (実教出版) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
1. パソコンを利用して、文書作成や情報処理の知識と技能の修得を目指す。 2. ビジネス文書検定1～2級・情報処理検定3級相当のスキルを身につけ、合格する。 3. プログラミング能力検定レベル4相当のスキルを身につけ、合格する。																		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2 学期	8 月 ～ 9 月	プログラミング能力検定対策 プログラミング能力検定受験	11					
	1. 単元ごとに実技テストを実施			1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る			1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容											
	評 価 の 基 準																	
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
知・技	単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。			B+			B-			10 月 ～ 11 月	プログラミング能力検定対策 プログラミング能力検定受験	6						
				実技テストの合計得点が55～79点である。			実技テストの合計得点が30～54点である。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			第3 学期	12 月 ～ 1 月	全商情報処理検定テキスト3級 実技問題1～20 模擬問題1～10 模擬試験問題	10 4					
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。			2 月 ～ 3 月	全商情報処理検定 受験 全商ビジネス文書実務検定 模擬試験問題集1級	4						
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数															52			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	進学探究セミナー											第 1 学期	4 月 ～ 5 月	・オリエンテーション ・問いを設定する ・AI活用授業	2 2 2
単位数	1	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →		●							第 1 学期	6 月 ～ 7 月	・仮説を立てる ・調査、実験の計画を立てる ・3 年生の発表を聞く	2 2 3
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																		
① 課題研究メソッド Z E R O ゼロから始める探究活動（啓林館） ② 小論文チャレンジノート（第一学習社） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
自らの興味関心から独自の問い（リサーチクエスト）を設定し、アンケートやインタビュー等の現地調査を通じて、自律的に探究を深める。収集した一次データを客観的に分析し、根拠に基づいた論理的な考察を行う力を養う。特に、探究の過程で自身の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを自分の言葉で表現することを重視する。成果を効果的に発信することで、自己の学びを俯瞰し、将来への展望を拓く。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	自身の興味関心に基づき妥当な問い（リサーチクエスト）を立て、アンケートやインタビューの手法を正しく理解し、適切な調査項目を設計している。収集した一次データをグラフや表を用いて整理・分析する手法を習得し、情報の信頼性を判断しながら活用している。また、探究のプロセスを論理的に構成し、ポスターやスライド等のツールを効果的に活用して、相手に伝わるよう可視化・表現する技能を身に付けている。																	
	思考・判断・表現	調査で得たデータを多角的に分析し、客観的な根拠に基づき自らの考えを論理的に構築している。収集した情報から事実と意見を区別して結論を導き出し、既存の知識と照らし合わせながら表現している。発表では聞き手の状況に応じて意図が明確に伝わるよう構成を工夫している。特に、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、単なる情報の羅列ではない、独自の考察や今後の課題を客観的に導き出している。																
主体性・態度		自ら設定した問いの解決に向け、現地調査やデータ収集に粘り強く誠実に取り組んでいる。調査や対話を通じて多様な価値観に触れ、より良い解決策を模索しようとする意欲的な態度が見られる。また、情報倫理（著作権の遵守、AIの適切な活用、調査協力者のプライバシー保護など）を遵守し、学びを自身の将来や社会との関わりの中に位置づけようとしている。活動全体を通し、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自分自身の学びの変容を真摯に振り返り、成長の糧にしようとしている。																
	第 3 学期															12 月 ～ 1 月	・まとめポスター、スライド作成	4
第 3 学期															2 月 ～ 3 月	・まとめポスター、スライド作成 ・レポート作成	2 2	
総 時 間 数																	50	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	就職探究セミナー														
単位数	1	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →	●								第 1 学期	4 月 ～ 5 月	・オリエンテーション ・問いを設定する ・AI活用授業	2 2 2
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ （ 発 行 所 ）																		
① 課題研究メソッドZ E R O ゼロから始める探究活動（啓林館） ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
自らの興味関心から独自の問い（リサーチクエスト）を設定し、アンケートやインタビュー等の現地調査を通じて、自律的に探究を深める。収集した一次データを客観的に分析し、根拠に基づいた論理的な考察を行う力を養う。特に、探究の過程で自身の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを自分の言葉で表現することを重視する。成果を効果的に発信することで、自己の学びを俯瞰し、将来への展望を拓く。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	自身の興味関心に基づき妥当な問い（リサーチクエスト）を立て、アンケートやインタビューの手法を正しく理解し、適切な調査項目を設計している。収集した一次データをグラフや表を用いて整理・分析する手法を習得し、情報の信頼性を判断しながら活用している。また、探究のプロセスを論理的に構成し、ポスターやスライド等のツールを効果的に活用して、相手に伝わるよう可視化・表現する技能を身に付けている。																	
	思考・判断・表現	調査で得たデータを多角的に分析し、客観的な根拠に基づき自らの考えを論理的に構築している。収集した情報から事実と意見を区別して結論を導き出し、既存の知識と照らし合わせながら表現している。発表では聞き手の状況に応じて意図が明確に伝わるよう構成を工夫している。特に、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、単なる情報の羅列ではない、独自の考察や今後の課題を客観的に導き出している。																
主体性・態度		自ら設定した問いの解決に向け、現地調査やデータ収集に粘り強く誠実に取り組んでいる。調査や対話を通じて多様な価値観に触れ、より良い解決策を模索しようとする意欲的な態度が見られる。また、情報倫理（著作権の遵守、AIの適切な活用、調査協力者のプライバシー保護など）を遵守し、学びを自身の将来や社会との関わりの中に位置づけようとしている。活動全体を通し、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自分自身の学びの変容を真摯に振り返り、成長の糧にしようとしている。																
	総 時 間 数															50		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間															
単位数	1	学科	普通科	学年	2年	該当するコース・科 →					●	●				第1学期	4月 ～ 5月	・オリエンテーション ・問いを設定する ・AI活用授業	2 2 2
教科書・副教材・（発行所）																			
① 課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館） ② ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
自らの興味関心から独自の問い（リサーチクエスト）を設定し、アンケートやインタビュー等の現地調査を通じて、自律的に探究を深める。収集した一次データを客観的に分析し、根拠に基づいた論理的な考察を行う力を養う。特に、探究の過程で自身の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを自分の言葉で表現することを重視する。成果を効果的に発信することで、自己の学びを俯瞰し、将来への展望を拓く。																			
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																			
知識・技能	自身の興味関心に基づき妥当な問い（リサーチクエスト）を立て、アンケートやインタビューの手法を正しく理解し、適切な調査項目を設計している。収集した一次データをグラフや表を用いて整理・分析する手法を習得し、情報の信頼性を判断しながら活用している。また、探究のプロセスを論理的に構成し、ポスターやスライド等のツールを効果的に活用して、相手に伝わるよう可視化・表現する技能を身に付けている。																		
	思考・判断・表現	調査で得たデータを多角的に分析し、客観的な根拠に基づき自らの考えを論理的に構築している。収集した情報から事実と意見を区別して結論を導き出し、既存の知識と照らし合わせながら表現している。発表では聞き手の状況に応じて意図が明確に伝わるよう構成を工夫している。特に、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、単なる情報の羅列ではない、独自の考察や今後の課題を客観的に導き出している。																	
主体性・態度		自ら設定した問いの解決に向け、現地調査やデータ収集に粘り強く誠実に取り組んでいる。調査や対話を通じて多様な価値観に触れ、より良い解決策を模索しようとする意欲的な態度が見られる。また、情報倫理（著作権の遵守、AIの適切な活用、調査協力者のプライバシー保護など）を遵守し、学びを自身の将来や社会との関わりの中に位置づけようとしている。活動全体を通し、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自分自身の学びの変容を真摯に振り返り、成長の糧にしようとしている。																	
	総 時 間 数																50		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間																
単位数	1	学科	普通科	学年	2 年	該当するコース・科 →							●	●		第 1 学 期	4 月 ～ 5 月	・オリエンテーション ・問いを設定する	2 2	
教 科 書 ・ 副 教 材 ・ (発 行 所)																	6 月 ～ 7 月	・仮説を立てる ・調査、実験の計画を立てる ・調査、実験の実施 ・3年生の発表を聞く	2 1 1 4	
① 課題研究メソッド 2nd Edition (啓林館) ② 課題研究メソッド 2nd Edition 課題研究ノート (啓林館) ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
自らの興味関心から独自の問い（リサーチクエスト）を設定し、アンケートやインタビュー等の現地調査を通じて、自律的に探究を深める。収集した一次データを客観的に分析し、根拠に基づいた論理的な考察を行う力を養う。特に、探究の過程で自身の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを自分の言葉で表現することを重視する。成果を効果的に発信することで、自己の学びを俯瞰し、将来への展望を拓く。																第 2 学 期	8 月 ～ 9 月	・調査、実験の結果を分析する ・考察をまとめる ・ポスター作製	1 2 1	
知識・技能	自身の興味関心に基づき妥当な問い（リサーチクエスト）を立て、アンケートやインタビューの手法を正しく理解し、適切な調査項目を設計している。収集した一次データをグラフや表を用いて整理・分析する手法を習得し、情報の信頼性を判断しながら活用している。また、探究のプロセスを論理的に構成し、ポスターやスライド等のツールを効果的に活用して、相手に伝わるよう可視化・表現する技能を身に付けている。																10 月 ～ 11 月	・ポスター作製 ・中間発表 ・探究交流 ・中間振り返り	4 2 12 1	
	思考・判断・表現	調査で得たデータを多角的に分析し、客観的な根拠に基づき自らの考えを論理的に構築している。収集した情報から事実と意見を区別して結論を導き出し、既存の知識と照らし合わせながら表現している。発表では聞き手の状況に応じて意図が明確に伝わるよう構成を工夫している。特に、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、単なる情報の羅列ではない、独自の考察や今後の課題を客観的に導き出している。															第 3 学 期	12 月 ～ 1 月	・まとめポスター、スライド作成 ・中間発表 2 回目	2 2
主体性・態度	自ら設定した問いの解決に向け、現地調査やデータ収集に粘り強く誠実に取り組んでいる。調査や対話を通じて多様な価値観に触れ、より良い解決策を模索しようとする意欲的な態度が見られる。また、情報倫理（著作権の遵守、AIの適切な活用、調査協力者のプライバシー保護など）を遵守し、学びを自身の将来や社会との関わりの中に位置づけようとしている。活動全体を通し、探究の過程で、自分の考えがどのように深まり、変化したのかに気づき、それを言葉にすることで、自分自身の学びの変容を真摯に振り返り、成長の糧にしようとしている。																	2 月 ～ 3 月	・まとめポスター、スライド作成 ・レポート作成	2 2
																総 時 間 数		43		